

本校創立記念日について

本校は、明治20年7月創立の我が国で最も歴史のある公立工業高校です。創立者は、納富 介次郎（のうとみ かいじろう）先生です。当時の校名は金沢区工業学校で、金沢市制が敷かれる前のことでした。校舎は兼六園内にあり、正面に金沢城が見えたことから、校歌の冒頭に「正面に仰ぐ金城の」と謳われています。

その後文部大臣の意見も頂き、明治22年に県税での運営となり、石川県工業学校と改称。更に明治34年5月には石川県立工業学校となり、以来「県工」の通称が広く県民に親しまれるようになりました。翌明治35年には現在地に移転を完了しています。

時は流れ、戦後、昭和21年着任の羽野禎三^{はのていぞう}校長先生が現在の校訓を制定。学校制度の改革で、昭和23年に石川県立金沢工芸高等学校となり、翌昭和24年4月には石川県立工芸高等学校となりました。総合制・男女共学制・全県学区の高校でした。この年新しい校舎において、10月15日に開校記念式ならびに校舎新築落成式が挙行され、それ以来この日を本校の創立記念日としています。

現在の校名である石川県立工業高等学校となったのは昭和33年で、学科の編成については、平成4年から現在の7学科となっています。校名の変遷をみても、長い歴史の中で、時代の大きな波をいくつも乗り越えてきたことが想像できますね。

生徒の皆さん、本校には2万3千名を越える幾多の先輩が築いてきた県工魂の伝統があります。この素晴らしい学校で学ぶことのできる縁に感謝し、県工魂を継承し、自らの高校生活を一層充実させて毎日を過ごしてください。

平成29年10月15日

石川県立工業高等学校長 宮越雅一